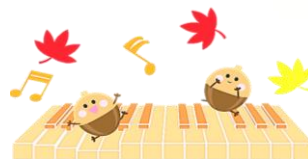


BOOK NEWS

大洲高校図書館
No.6 2025年11月



図書館からひとこと

11月になり、一段と寒くなりましたね。体調管理に気を付けて、今月も元気に過ごしましょう。そうそう、秋はやっぱり読書ですね。毎日忙しいですが、たまには息抜きをして本を読むのはいかがでしょう。最近図書室の人が少なくて寂しいです。ぜひ図書室に足を運んで好きな本を探してみてください。新刊も続々と並んでいます。

新役員よりひとこと



委員長になりました、武田彩花です。皆さんに「本を読もう」「図書室に行ってみよう」と思ってもらえるように頑張っています。図書室で皆さんを待っています。

副委員長に就任した小川真聖です。図書館の利用者が増えるよう、精一杯努めます。よろしくお願いします。



図書委員おすすめ本紹介

今夜世界からこの恋が消えても 一条 岬 メディアワークス文庫

この小説は、高校生の神谷透が事故により「前向き健忘」という病気にかかった日野真織と出会い、嘘の告白から始まった恋が次第に本物の感情へ変わっていくお話です。真織は寝ると一日の記憶を失ってしまいます。透は彼女を笑顔にするため、思い出を共に作り続けます。しかしそれは突然終わりを告げます。衝撃の展開とその結末に感動します。ぜひ、読んでみてください！



方舟 夕木 春央 講談社文庫

この小説は物語の主人公「柊一」が大学のサークル仲間と共に地下建築「方舟」を訪れるところから始まります。そこで地震が起きなんと「方舟」に閉じ込められてしまいます。しかし、一人を犠牲にすればほかの人たちが助かるという仕掛けがありました。その一人を決めるために様々な悲劇がおこります。ハラハラドキドキする展開でとても面白いので是非読んでみてください。



新刊図書紹介

珈琲怪談、初耳怪談、署長シンドローム、署長サスペション、難しすぎる世界が僕を鬼才と呼ぶ、カットインカットアウト、毎日ご機嫌な私を作る47のポジティブな習慣、札幌誕生、風読みの彼女、貸本屋おせん、老人ホテル、財布は踊る、さみしい夜のページをめくれ、さみしい夜にはペンを持って、ブレイクショットの軌跡、西洋の敗北、ドイツ人のすごい働き方、狐霊の檻、何歳になっても自分を楽しむ練習、人生は気分が10割、お金の大学、最悪相棒、世界の一流は休日に何をしているのか、こうやって頭の中を言語化する、電話恐怖症、普通につけるくすり、知らない恥をかく世界の大問題、星の教室、花のたましい、月収、カフネ、謎の香りはパン屋から、心の持ち方、移動する人はうまくいくこの味もまたいつか恋しくなる、言葉にならない気持ち日記、他

